【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公表番号】特表2002-541797(P2002-541797A)
【公表日】平成14年12月10日(2002.12.10)
【出願番号】特願2000-611660(P2000-611660)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　 7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　35/76　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/17　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/255　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/265　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　48/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
Ｃ１２Ｒ　 1/93　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ
Ｃ１２Ｎ　 7/00
Ａ６１Ｋ　35/76
Ａ６１Ｋ　39/17
Ａ６１Ｋ　39/255
Ａ６１Ｋ　39/265
Ａ６１Ｋ　48/00
Ａ６１Ｐ　31/12　１７１
Ｃ１２Ｎ　 7/00
Ｃ１２Ｒ　 1:93

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月22日(2007.3.22)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　マレク病ウイルス（ＭＤＶ）ゲノムのＵＬ５４．５オープンリーディングフレームに挿入された外来性ＤＮＡ配列を含む、組換えマレク病ウイルス（ＭＤＶ）。
【請求項２】　前記外来性ＤＮＡがポリペプチドをコードする、請求項１に記載の組換えウイルス。
【請求項３】　前記ポリペプチドが１０より多いアミノ酸を含有する、請求項２に記載の組換えウイルス。
【請求項４】　前記ポリペプチドが抗原性である、請求項２に記載の組換えウイルス。
【請求項５】　請求項１に記載の組換えウイルスであって、ここで前記外来性ＤＮＡ配列が、該外来性ＤＮＡ配列の上流に位置する活性なヘルペスウイルスプロモーターの制御下にあり、そして、該外来性ＤＮＡ配列が、ＰＲＶ　ｇＸプロモーター、ＭＤＶ　ｇＢプロモーター、ＭＤＶ　ｇＡプロモーター、ＭＤＶ　ｇＤプロモーター、ＩＬＴＶ　ｇＢ

プロモーター、ＩＬＴＶ　ｇＩプロモーター、ＨＣＭＶ最初期プロモーター、および実質的に相同な配列からなる群より選択される、組換えウイルス。

【請求項６】　請求項１に記載の組換えウイルスであって、ここで前記外来性ＤＮＡ配列が、ニワトリ貧血ウイルス、伝染性ファルビキウス病ウイルス、マレク病ウイルス、ニューカッスル病ウイルス、伝染性喉頭気管炎ウイルス、伝染性気管支炎ウイルス、および実質的に相同な配列からなる群より選択されるウイルス由来の抗原性ポリペプチドをコードする、組換えウイルス、

【請求項７】　請求項６に記載の組換えウイルスであって、前記外来性ＤＮＡ配列が、ＶＰ２、ＶＰ３、ＶＰ４、および実質的に相同な配列からなる群より選択される、伝染性ファルビキウス病ウイルス由来の抗原性ポリペプチドをコードするＤＮＡ配列を含む、組換えウイルス。

【請求項８】　請求項６に記載の組換えウイルスであって、前記外来性ＤＮＡが、Ｂ糖タンパク質、Ｄ糖タンパク質、Ａ糖タンパク質、および実質的に相同な配列からなる群より選択される、マレク病ウイルス由来の抗原性ポリペプチドをコードするＤＮＡ配列を含む、組換えウイルス。

【請求項９】　請求項６に記載の組換えウイルスであって、前記外来性ＤＮＡ配列が、Ｆ、ＨＮ、および実質的に相同な配列からなる群より選択される、ニューカッスル病ウイルス由来の抗原性ポリペプチドをコードするＤＮＡ配列を含む、組換えウイルス。

【請求項１０】　請求項６に記載の組換えウイルスであって、前記外来性ＤＮＡが、スパイクタンパク質、ヌクレオカプシドタンパク質、マトリックスタンパク質、および実質的に相同な配列からなる群より選択される、伝染性気管支炎ウイルス由来の抗原性ポリペプチドをコードするＤＮＡ配列を含む、組換えウイルス。

【請求項１１】　マレク病ウイルス（ＭＤＶ）ゲノムのＵＬ５４．５オープンリーディングフレームの少なくとも一部の欠失を含む、変異体マレク病ウイルス（ＭＤＶ）。

【請求項１２】　前記ＵＬ５４．５オープンリーディングフレームが完全に欠失している、請求項１１に記載の変異体ウイルス。